

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	市単独舗装新設改良事業			
予算科目	8 款	2 項	3 目	
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 道路河川課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 上坂 博一		担当責任者: 鍋田 豊樹	
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
事業の必要性	地元利用者からの要望により拡幅改良を実施した路線の機能向上、安全確保のため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】 市内一円		
運営方法	【運営方法】 【運営費(予定)】			
事業の目的	道路改良を実施した路線の舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事 行い利用者の利便性の向上と通行の安全確保を図る。			
事業の内容	道路改良を実施した路線のアスファルト等による舗装新設工事、経年劣化により通行に支障をきたしている路線の舗装改良工事			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	地元要望路線を中心に市で調査を行い、路面劣化状況や通行の安全性を考慮し実施している。			
改善策の 具体的 取り組み	地元要望路線を中心に市で調査を行い、路面劣化状況や通行の安全性を考慮し実施している。			

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	53,406	45,867	22,995	45,707
	人件費	11,198	11,389	4,881	11,389
	合計	0	57,256	27,876	57,096
人件費 内訳	人工数	1.40	1.40	0.60	1.40
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	11,198	11,389	4,881	11,389
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	64,604	57,256	27,876	57,096

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
工事請負費	53,406	45,707	78,954	60,000	60,000	60,000	
年度別事業費	53,406	45,707	78,954	60,000	60,000	60,000	
財源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	53,406	45,707	78,954	60,000	60,000	60,000
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	工事实施箇所÷工事要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	地元要望箇所にする実施箇所の割合を上げることにより、市民生活の向上を図ることになる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	経年劣化による舗装の老朽化が著しく舗装改良が追いついていない状況にあるため、路面状況の点検調査を実施し、優先順位を決めながら対応する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	舗装面の継ぎ接ぎが多い認識である。上下水道課との協議を行うことにより、管路修繕計画のある箇所では舗装面の悪い箇所は全面的にアスファルト舗装をやりかえるようにすることが重要である。また、これらも入札予定時期、予定金額は公開しているが、事業実施箇所の概要や場所は公開できていないので、公開をしていくことが必要と思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題